

ラポール(信頼)、質(治療効果)、量(来院回数)の各段階での目的の明確化

問診

ラポール	聴いてもらえている 患者が流れを把握できる
質	術者が主訴を把握できる
量	主訴の改善を認識できる 主訴の部分以外の改善も認識できる 優先順位を共有できる ベネフィットを把握できる

検査

ラポール	主訴をみてもらえている メニューなど、やる事や金額を把握できる
質	術者が施術する部分を把握できる
量	主訴の改善を実感できる 主訴の部分以外の改善も実感できる 主訴が改善してもまだ完治でないことを実感できる

施術

ラポール	痛みや不安感がない
質	仮説の検証ができる
量	量の必要性を理解できる

カウンセリング

ラポール	一緒に積み上げる共同作業
質	根本原因を共有できる 改善点の優先順位を共有できる
量	根本原因をより深く知れる

OCL ストレッチ

ラポール	自分で治せる安心感 接触回数
質	正しく行えているかがわかる
量	ストレッチのチェックをしてもらえる